

# 広聴特別委員会記録

令和元年 9 月 4 日

【開催日】 令和元年 9 月 4 日

【開催場所】 第 1 委員会室

【開会・散会時間】 午後 2 時 3 0 分～午後 3 時

【出席委員】

委 員 長	長谷川 知司	副 委 員 長	宮 本 政 志
委 員	伊 場 勇	委 員	杉 本 保 喜
委 員	高 松 秀 樹	委 員	中 岡 英 二
委 員	中 村 博 行	委 員	藤 岡 修 美
委 員	松 尾 数 則	委 員	森 山 喜 久
委 員	吉 永 美 子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議 長	小 野 泰	副 議 長	矢 田 松 夫
-----	-------	-------	---------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事 務 局 長	沼 口 宏	議 会 事 務 局 主 査	島 津 克 則
---------	-------	---------------	---------

【付議事項】

- 1 議会報告会について
- 2 市議会モニターの意見について
- 3 その他

---

午後 2 時 3 0 分 開会

---

長谷川知司委員長 広聴特別委員会を開会します。今日の付議事項は、お手元の資料にあるとおり、議会報告会について、市議会モニターの意見について、その他であります。最初に議会報告会についてということで、前回、企画部会とPR部会に分かれて、部会を開いていただきましたので、部会長から報告を受けたいと思います。最初に企画部会お願いします。

吉永美子委員 先日、21日だったと記憶しておりますが、企画部会を開催し

まして、7点について話し合いをしまして、一応結論というか、部会としては、これでどうだろうかという御提案をさせていただきたいと存じます。まず1点目ですが、議員一人当たり3名の動員と、あわせて目標設定という点について、3名の動員を継続し、1会場5人が座っていただいて4テーブル作るということになっている関係で、5掛ける4、1会場20人、そして、6会場の場合は全体120人とするのを目標とすべきではないかということでした。それから班体制ですが、2班にするのか、3班にするのかということですが、人数を増やすという目標人数から考えれば、3班では厳しい。2班体制を継続するべきではないかということです。それと3番目のアンケート用紙に議員名の記入についてですが、3名増員をすることから考えれば、必要であるということです。4点目のアンケート用紙に参加者名の記入は、住所を含み、不要ということです。5番目の会場の選定についてですが、理科大や高校に話をさせていただいて、時期や形態を検討してはどうか。そして、光市が高校生との意見交換会を行っています。これを調査するというので、一応資料として、1月21日発表の2月9日に行われた光市における高校生との意見交換会第4回、このことについて公表されていた資料を提出させていただいております。それから、報告書の形態統一ということですが、A班とB班で報告書に違いがあるということで、参加者から出た中で、その他に入れる、要は報告事項ではないところで出てきた分については、最後にその他に入れるのではなくて、各委員会に分けて報告ということがいいのではないかということでした。そして、最後に7番目のその他についてですが、市民から出た要望及び意見につきまして、各委員会で、これを選択して取り上げていこうとかいうことで、取捨選択していただいて、委員会で調査をした後に、回答書を作成して、現在、未回答分の報告と同様に、次回、議会報告会で報告したら、もっともっと市民の皆さんに、頂いた意見や要望を、このように委員会で調査していますよということが分かるのではないかということでした。以上簡単ですが、報告します。

長谷川知司委員長 ちょっと確認しますが、6番の報告書の形態統一というのは、委員会ごとに報告書を書いているから、委員会ごとの報告のほうに繰り入れるということですね、別にその他じゃなくて。

吉永美子委員 要は、報告書がA班とB班ではちょっと形が違うということで、統一と考えると、その他に出たことは、最後にその他にするのではなくて、各委員会の中のその他にするということです。

長谷川知司委員長 企画部会の吉永部長から報告がありました。これについて皆様方の意見を聞いていきたいと思えます。

藤岡修美委員 5番の会場の選定で理科大や高校というのが上がっていますけども、これは今までの6会場プラスアルファになるのか、それとも6会場のうちの会場がこれになるのか。

吉永美子委員 やはり、6会場プラスという具体的な話ではなくて、その時々で、どうやったらもっといい報告会になるかということ、考えようという中に、理科大に行って、議会カフェを開かせてもらったり、また、高校はどういうふうになるのか、報告会としてできるのか、出前講座的になるのかということを含めて、どうやったらいいのか、どうしたら高校生が喜ぶかということ、学校、また理科大に行って、話を聞き、どうしたらいいかということを検討するということをやって、6会場プラスアルファという意味ではありません。

長谷川知司委員長 これについてはまだ決めてなかったですね。（「はい」と呼ぶ者あり）この中で、皆さんの意見を聞いてもいいと思えます。1番はいいですね。2番も3番も4番までは一応いいですかね、これで。

中村博行委員 ちょっと気になるのは3番ですね。前からいろいろ御意見があるんですけど、議員の名前を書くということに対して、市民のほうからあったわけですね。議員の名前を書けば自分がその議員を支持していると。狭い地域で特定をされたくないということがあったと思うんですけど、その場合どういうふうになればよいかということもあるかと思うんですけど。

吉永美子委員 答えになるかどうか分かりませんが、基本的な考え方として、4番で、参加者を書かないので、どなたが誰々議員さんに誘われたと書いたかどうか分からない形になります。

長谷川知司委員長 その会場でほかの人が見れば、書いていけば分かる場合がありますね。一応今回の変更は、今言われる4番ですね。要するに記入した人の住所、氏名はもう書かないようにしようということで、3をクリアできるんじゃないかということがあったんですが。

中村博行委員 そうしますと4番は欄も設けないということですか。

長谷川知司委員長 はい。一応4番までで何か。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次、5番ですね。先ほど言われましたけど、これについて、今の議会報告会プラスアルファにするのか、あるいは、変えていくのかということなんですが、これについて、皆様方の意見があれば。光市の資料がありますが、光市はあくまでも議場に来ていただいて、代表者に来ていただいて、そこで、高校生議会というような形でやるという形だと思います。ですから、逆に高校に出前に行くというのとはちょっと違う、一つの違うパターンですね、これは。

松尾数則委員 この発想は非常にいいと思うんですが、ただ、例えば議員としては非常に大きな負担になるのも事実だと思います、別枠でやるとすると。その辺をどう捉えていくのか。できれば、6会場の中に含めていただいたほうがいいかなという気がします。

長谷川知司委員長 議会カフェで議題がないようなときに、それに代えて、こういう形をどうかということですね。

松尾数則委員 高校とか大学は、例えば、市民懇談会とか別の捉え方ができるような気もするんですけどね。市民懇談会みたいな形でやるとか、それも一つありかなと思っています。

宮本政志副委員長 今おっしゃったことで、基本的に実施要項のほうには議会の説明責任を果たすということと、市民との意見交換と二つ書いてあるんですよ。今のこの光市を見たり、あるいは、高校に赴くなり、高校生に来ていただいてというのは、意見交換のみになると思うんですよ。説明責任を果たすという実施要綱をちょっと満たしてないようなところもあるんで、そうすると、実施要綱にも原則6か所と書いてありますから、回数とか開催箇所の問題というと、条例と要綱と全部照らし合わせて、そして説明責任の部分と、それから意見交換会という趣旨の部分と全部複合的に話し合わないと、一概に忙しくなるとか、あるいは回数が増えるかどうかということで単純に決めてしまうとちょっと問題が生じるかなと思います。

長谷川知司委員長 要綱の見直しということも必要ですし、議会基本条例そのものも、見直しをまだされていないような状態もありますので、そちら

のほうの見直しというものをされたときに、どうなるかということになってくると思います。でも、いいことはいいことだから、提案はしていきたいと思います。ほかにはないですか。5番については、今日決定ということは考えておりませんが、一応皆さんの中で考えてみてください。5番については、また、次回話します。6番は、先ほどの説明どおりでいいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）7番も先ほど部会長が説明されたとおりでいいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）一応そういうことしていきたいと思います。それで、次の光市の記者発表が書いてありますので、これも一つの参考として、とてもいいことだと思いますので、これも、よく読んでおいていただきたいと思います。それでは、次に議会モニターの意見について、事務局のほうから何かあれば。

島津議会事務局主査 8月末でモニターの意見を締め切りましたけれども、今回、意見の提出はありませんでした。

吉永美子委員 8月19日に広聴特別委員会開いた際に、9月4日までで企画部会が行っていくこと、1点についてはPR部会でということがあったのが、ホームページの公表、調査したことの公表でしたか、ホームページへの公表うんぬんという部分はPR部会でとなっていたと思っているんですけども。

長谷川知司委員長 私、PR部会を失念しておりました。御無礼しました。ちょっと戻ります。1番にちょっと戻りまして、PR部会の報告を受けたいと思います。

松尾数則委員 PR部会がなくて、ちょうどよかったなと思っていたんですけど。実はPR部会はこの場でいろいろ話そうと思って、あんまり提示するものはないんですが、実はPR部会は議会カフェのパンフレットを作成しまして、そちらのほうは提示したいと思っています。こういうものでいかがでしょうかという内容。いかに動員するかということに関しては、前回からもそうだし、先ほどもいろいろと問題になっているんですが、議員が3名ほど増員する。そして、そのことを公表することも含めて、いろいろ前回から問題になっているんですが、できれば、そういった公表も含めてしたほうが、動員については多くの人を呼べるんじゃないかとか、議員そのものも動きが取りやすいんじゃないかという気がしています。その辺のところは、是非ともどうすればいいのかを含めて、この場で話し合ってもらったほうがいいかなという気はしていま

す。

長谷川知司委員長 先ほどの企画部会でありましたように、議員一人当たり3名増員ということもありましたね。それと、PRの松尾部会長からも、公表も含めてということがありました。これについて、意見があれば。一応企画部会のほうでは3名動員というのはありましたので、それは皆さん了解でいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に、公表について、前回氏名は分かっていますが、議員の名前が書かれていない空欄という形も結構ありましたので、その票がどこに行くかというので、誤解を招いてはいけないということで、資料では議員名をアルファベットで表示しておりました。それプラスアルファで皆さん、名前を書かれていない方がそれぞれあると思うんですね。そういうことで、氏名の公表はしませんでした。その代わりに、私の手元には氏名の表があり、皆さんには必要があればそれを見てくださいということになりましたが、それではまずいということですか。全部氏名を出すということですか。

松尾数則委員 まずいと言っているわけではないんですが、例えば、3名、誰が自分を紹介したかというのが分かると困るというのが市民の側から出てきたということはちょっと戸惑いを感じているんですよ。ただ今回は、自分の氏名を書きませんから、その辺はカバーできるかなという気はしているんですが、議員は3名ほど動員するということですから、議員としての責任はある程度きちんと取れる形が、うまくとれたらいいなという気がしています。正直言って僕も3名、いつも動員しているわけではない。恐らく3名も行っていないと思うんですよ。

長谷川知司委員長 確かに本当にすごく動員されている方もいらっしゃいます。そうかと思えば、結果的には名前を書かれていないということだと思ってしまうんですけど、数に出ていない場合もあります。私としては今までどおり、出すのはアルファベットで出して、個人的な名前は皆さんが知りたければ、ここに置いているから見てくださいという形でいきたいんですが、まずいですかね、それでは。

宮本政志副委員長 前回のときは、委員長と副委員長のほうで、動員が少ない議員に次からちゃんと、決まったことなだから、守っていきましょう。だから、動員をお願いしますよということをお願いしようということ。で終わっていたと思うんですよ。だから、9月の議会報告会は、委員長と私のほうで、依頼をかけて、お願いしますよ。それでも、例えば、

ゼロが続く、1が続くというのであれば、やはり決まったことなんで、決まったことをなぜできないのかということですよ。そうすると、逆に公表されても仕方ないんじゃないですかと思うんですよ。だから、ルールとして決まってないんじゃないだろうがないけど、決まったことをできてない。できてないことが公表されてまずいなら、呼べばいいじゃんというふうに、私はそういうふうにとっているの、今回は公表するんじゃないなくて、前回の続き、委員会の結果で委員長と私が話をして、それでもやはり少ないのであれば、やはり、公表していくという方向もせざるを得ないかなと思います。

松尾数則委員 もちろん、いろんな意見があるのはもう十分承知していますけど、ただ、PR部会としては、これ以上の人を集めるとしたら、こういう手段しか、もうないんですよ。これからは是非とも、多くの人を集めたいと思っています。だから、そういうふうな手段を是非とも残しておいていただきたいなと思っていますし、私はだから、基本的には公表すべきだという気がしています。

高松秀樹委員 今PR部会では、どういうPRをされているんですか。

松尾数則委員 これはもう以前からずっと話していると思うんですけど、商工会議所、あと、多少銀行も配っています。それから個人が配布するという形です。あと、各公民館に大きなポスターですね。基本的にはそのぐらいですね。市の広報にも少しですが載せています。フェイスブックにも、もちろん載せています。

高松秀樹委員 チラシ、ポスター、フェイスブック、広報ということ。FMサンサンきららとかでPRとかは。だから、結局PR部会に振ったという意味は、ほかにツールは何がありますかというのを振っているはずなんですよ。今の状況の中でやっても、恐らく変わらないので、新たなツールを探すために、考えてくださいということだったと思うんですけど、それは、いま一度、皆さん集まってもらって、考えられたほうがいいんじゃないかなという気はしますけどね。松尾委員が言われるチラシについては、今ちょっといろいろ作っていますというね、もう少しアイキャッチ的なのを作っているのかどうか分かりませんが、そういうのを含めてやっていかないと、今日の本会議場の評価シートではないんですけど、これ評価シートで言うと落第点ですよ、恐らく。それなのに全然変わらず、次もこれでやりますというわけにはなかなかいかないとは思



います。

中岡英二委員 チラシの案ということで、一応出しています。ただ、ちょっと不備があるもので、今ここで公表できないんですけど、一応、その辺の考えは出しますので、後ほどPR部会のほうで考えてください。

長谷川知司委員長 今回の案も含め、また先ほど企画のほうでありました会場の設定等もありますので、次回の広聴委員会を、やはりこの9月議会中に開かないとまずいと思うんですね。そういうことで考えれば9月の一般質問が早く終わる日があったですね。18日ですかね。その日、終わってから、昼からになるかもしれませんが、広聴委員会を開くということで、それまでにPR部会で部会を開いていただくことができれば一番いいんですけど。それで次の9月18日に広聴委員会を開きたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それと、広聴委員会の議会報告会ということで、ちょっと私、疑問に思ったのが、目的で市民に開かれた議会を目指して、議会の説明責任を果たすということですが、説明責任を果たすというのは広聴ではなくて、逆にこれ、広報委員会のほうかなという気がちょっとしているんですね。私は、市民からの意見を聞くほうで、議会としての説明責任を果たすためにというのは広報かなという気がしているんですね。そういうことも含めて、次回18日に実施要項もちょっと皆さんで話していただければと思います。これは私の投げ掛けで、個人的な考えだけですので。それから次、3のその他にいきます。お手元の資料にありますように市民懇談会の申込書がありました。これにつきましては担当委員会を産業建設常任委員会のほうにお願いしたいと思いますが、そういうことでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）はい。そういうことでいきます。それで最後、もう9月議会の議会カフェをいつするかというのを決めておかないと、皆さんも予定がいろいろあるし、様々な議会の予定も入っていますので、今、案として提案しますね。10月の20日の週ですかね。21、22、23、24、25なんです。この中でいったらどうかと思うんですが、一つ案として入っているのが、10月22日火曜日なんですけど、これは天皇即位の関係で祝日になるみたいなんです。この日の昼と晩というのはちょっと外したほうがいいかなと思うんですが、となると24日に昼から都市計画審議会というのがありまして、議員も何名か出るんですね。ですから、これを外すと、21、23、25と飛び飛びになりますが月水金で議会カフェを予定しておきたいと思うんですが、皆さんの意見はどうでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それで、同じようにダブルヘッダー

で。

藤岡修美委員 都計審は17じゃないですか。

長谷川知司委員長 24でたしか来たと思いますが、大事なことです。ちょっと都市計画課へ確認してもらいます。

---

午後2時55分 休憩

---

---

午後2時58分 再開

---

長谷川知司委員長 休憩を閉じまして、再開します。次回の議会カフェの日程、10月21、23、25日、昼と夜の6回ということで、日程を決めておきたいです。いいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかに皆様のほうから何かその他でありましたら。

島津議会事務局主査 市民懇談会が8月1日に開催されまして、この報告書の件はもうされましたでしょうか。

長谷川知司委員長 次の資料であります市民懇談会報告書ということで、山口から日本を変える会山陽小野田から来ております。議会運営委員会と吉永さんと山田さんが対応されたんですね。これについて報告が来ております。読んでいただくということでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかに事務局からありますか。

島津議会事務局主査 事務局からは特にございませぬ。

長谷川知司委員長 今日の広聴特別委員会これで終わります。お疲れ様でした。

---

午後3時 散会

---

令和元年9月4日

広聴特別委員会委員長 長谷川知司